【平成 25 年度・後期学期・ミクロ経済学Ⅰ・課題１】

☆ 締め切り： 10 月 8 日(火)および 10 月 9 日（水）講義開始時

☆ 表紙には指定のページを使ってください。

【問1】 次の直線の方程式(一次方程式)をグラフに書きなさい。グラフ上にどの方程式のグラフか判るように示すこと。（独立変数には、X もしくは R を選ぶこと。また、各座標軸の変数を、各設問ごとに異なる座標軸を書いて図を描いて下さい。）

A） Y=３X＋９

B） X=－Y＋８

C） Y＝－２X＋５

D） 4Q＝R+8

E） 5(R－6)＝3Q

F） 12R＝2－0.5Q

【問2】 次の（１）、（２）の連立一次方程式を解き、解を表すグラフを**問いごと**に描きなさい。

（1）

$$\begin{cases} Y = 18 - 3X \\ Y = 1 + 2X \end{cases}$$

（2）

$$\begin{cases} 3X + 2Y = 5 \\ X - 2Y = 7 \end{cases}$$

【問 3】次の経済学に関する基本用語や考え方を、完結した文章を使い説明しなさい。この際、説明するために必要であれば図や数値例を挙げて説明なさい。

（1）希少資源 （2）トレード・オフ （3）機会費用 （4）自由財と経済財

（5）実証経済学と規範経済学 （6）限界量と限界法則

【問 4】次の計算を行いなさい。

A） 水が水道の蛇口から毎分２リットルで出ている。最初にバケツに１４リットルが入っており、そこに６分間水を注いだとする。6 分後の水量と最初の水量の間で何パーセント増加したか求めなさい。

B） $\dfrac{\left(\frac{5}{12}\right)}{\left(\frac{8}{10}\right)}$を簡単にしなさい。

C） 4：５＝15：ｘ であるときｘの値を求めなさい。